堺市立健康福祉プラザ生活リハビリテーションセンター 平成29年度事業報告

資料４

（１）自立訓練事業

① 自立訓練事業利用者の状況

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  | 平成２9年度 | 平成２8年度 |
| 　 | 機能訓練 | 生活訓練 | 合計 | 機能訓練 | 生活訓練 | 合計 |
| 利用契約者数 | 31 | 78 | 109 | 32 | 82 | 114 |
| うち、 | 新規利用（契約） | 16 | 25 | 41 | 15 | 36 | 51 |
| 退所（契約解除） | 12 | 32 | 44 | 17 | 29 | 46 |
| 延利用件数 | 1,912 | 4,301 | 6,213 | 1,396 | 5,122 | 6,518 |

② 新規利用者の契約に至ったきっかけ

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  | 平成29年 | 平成28年 |
| 　 | 機能訓練 | 生活訓練 | 合計 | 機能訓練 | 生活訓練 | 合計 |
| 医療機関から紹介 | 8 | 17 | 25 | 5 | 24 | 29 |
| 他の事業所から紹介 | 1 | 3 | 4 | 3 | 2 | 5 |
| 市・相談機関から紹介 | 0 | 1 | 1 | 1 | 5 | 6 |
| 本人・家族から相談 | 5 | 3 | 8 | 5 | 4 | 9 |
| その他 | 2 | 1 | 3 | 1 | 1 | 2 |
| 合計 | 16 | 25 | 41 | 15 | 36 | 51 |

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
|  | 　 | 他の事業所を利用 | 就職(復職)/就学 | 入院 | 入所 | 在宅 | その他 | 合計 |
| 平成29年 | 機能訓練 | 4 | 3 | 0 | 0 | 4 | 1 | 12 |
| 生活訓練 | 5 | 12 | 1 | 1 | 11 | 2 | 32 |
| 合計 | ９ | 15 | 1 | 1 | 15 | 3 | 44 |
| 平成28年 | 機能訓練 | 6 | 5 | 0 | 0 | 4 | 2 | 17 |
| 生活訓練 | 11 | 10 | 0 | 0 | 7 | 1 | 29 |
| 合計 | 17 | 15 | 0 | 0 | 11 | 3 | 46 |

③ 退所者の動向

H29年度退所者動向（「他の事業所利用」内訳）

機能訓練４（就労移行事業所１、就労継続B型事業所２、生活介護事業所 1）

生活訓練5（就労移行事業所１、就労継続B型事業所３、生活介護事業所 1）

④利用当事者・家族支援

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 　 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 合計 |
| 家族懇談会 | 3 | 5 | 5 | 4 | 4 | 6 | 4 | 4 | 2 | － | 3 | 3 | 43 |
| 学習懇談会（OB交流会） | － | － | 18 | － | － | － | － | 22 | － | 42 | － | 11 | 93 |

（２）支援普及事業

① 相談支援の状況

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  | 平成29年 | 平成28年 |
| 新規実人数 | 144 | 159  |
| 継続実人数 | 275 | 410  |
| 実人数合計 | 419 | 569  |
| 延相談件数 | 1,544 | 2,303  |

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 相談者内訳 | 平成29年 | 平成28年 |
| 本人 | 234 | 416  |
| 家族 | 332 | 534  |
| 行政関係 | 183 | 338  |
| 医療関係 | 370 | 568  |
| 福祉関係 | 290 | 384  |
| 教育関係 | 7 | 2  |
| 就労関係 | 63 | 5  |
| その他 | 65 | 56  |
| 合計 | 1,544 | 2,303  |

② 研修会・勉強会開催の状況

|  |
| --- |
| 高次脳機能障害及びその関連障害に対する支援普及事業　支援普及研修会 |
| 開催日 | 開催内容 | 参加者数 |
| 5月24日 | 　第１回研修会「高次脳機能障害のある方の福祉的就労について」 | 35 |
| 8月23日 | 第２回研修会「社会的行動障害の評価とその対応について」 | 30 |
| 11月12日 | 第３回研修会「イライラや不安はなぜ起こる？脳がつくり出す困り事」 | 139 |
| 1月31日 | 第４回研修会「脳血管疾患後遺障害のためのケアプランについて」 | 32 |
| 出張勉強会 |
| 開催日 | 開催内容 | 参加者数 |
| 7月7日 | 介護センター翁　第1回出張勉強会「高次脳機能障害とは？」 | 10 |
| 7月21日 | 介護センター翁　第2回出張勉強会「失語症の対応について？」 | 8 |
| 7月19日 | リボンケアステーション　出張勉強会　「高次脳機能障害とは？」 | 9 |
| 7月28日 | いずみ作業所　出張勉強会　「記憶障害への対応」 | 16 |
| 8月4日 | 介護センター翁　第3回出張勉強会「社会的行動障害について」 | 8 |
| 11月14日 | 東区ケアマネージャー連絡会　出張勉強会　「高次脳機能障害について　～堺市における支援体系と障害像及びのその適切な支援方法について～」 | 22 |
| 1月24日 | 南区ケアマネージャー連絡会　出張勉強会　「高次脳機能障害の支援について学びましょう」 | 64 |
| 1月25日 | ベルランド総合病院　第1回出張勉強会「小児の高次脳機能障害支援について」 | 25 |
| 1月29日 | ベルランド総合病院　第2回出張勉強会　「急性期病院を退院後に自立訓練事業所を利用した高次脳機能障害の事例」 | 18 |
| 2月2日 | 堺市立総合医療センター　出張勉強会「高次脳機能障害者に対する運転技能評価」 | 14 |
| 2月22日 | ふるさぽーとケアプランセンター　第1回出張勉強会「高次脳機能障害とは」 | 30 |
| 3月20日 | ふるさぽーとケアプランセンター　第2回出張勉強会「社会的行動障害への適切な対応と支援者が知っておきたいこと」 | 28 |

研修会・勉強会述べ参加者数　488名

③ 視察・研修の受入れ（他機関からの依頼対応）

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 開催日 | 開催内容 | 参加者数 |
| 5月17日 | 大阪府平成29年度市町村高次脳機能障がい担当者職員研修 | 17 |
| 6月7日 | 大阪府相談支援員養成研修高次脳機能障がい支援コース（堺圏域） | 17 |
| 6月23日 | 大阪医療技術学園専門学校言語聴覚士科研修 | 39 |
| 7月11日～14日 | 佐賀県立地域生活リハビリテーションセンター職員実地研修 | 2 |
| 7月21日 | 関西医療大学保健看護学科（保健師養成）研修「堺市の高次脳機能障害支援ネットワークについて」 | 4 |
| 9月1日 | NPO法人クロスジョブ「就労＆高次脳機能障害」研修会ツアー（視察） | 8 |
| 11月2日 | 沖縄県障害福祉課計画推進班（視察） | 2 |
| 11月7日 | 仙台市議会議員団（視察） | 14 |
| 11月8日 | 倉敷高次脳機能障害者の会（視察） | 3 |
| 12月20日 | 関西医療大学保健看護学科（保健師養成）研修「堺市の高次脳機能障害支援ネットワークについて」 | 6 |
| 1月24日 | 関西医療大学保健看護学科（保健師養成）研修「堺市の高次脳機能障害支援ネットワークについて」 | 6 |
| 2月19日 | 医療ニーズのある精神障がい者の就労支援連携事業高次脳機能障がいのある方対象　就労支援セミナー　STEP1 | 36 |
| 3月8日 | 医療ニーズのある精神障がい者の就労支援連携事業高次脳機能障がいのある方対象　就労支援セミナー　STEP2 | 19 |
| 3月19日 | 医療ニーズのある精神障がい者の就労支援連携事業高次脳機能障がいのある方対象　就労支援セミナー　STEP2 | 7 |

視察・研修受入れ述べ人数　180名

④ その他の研修実施

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 10月4日 | 堺市障害者支援課主催　グループホーム事業者研修「生活の質を向上させる介助方法と座位姿勢」 | 36 |

⑤ 自動車運転技能評価の実施状況

＜堺市＞実施者数　11名　（データについては大阪府事業と統合）

⑥ ネットワーク構築（各区自立支援協議会等への参加状況）

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 　 | ４月 | ５月 | ６月 | ７月 | ８月 | ９月 | 10月 | 11月 | 12月 | １月 | ２月 | ３月 | 合計 |
| 各区自立支援協議会 | 2 | 1 | 2 | 0 | 3 | 5 | 6 | 4 | 6 | 4 | 7  | 4  | 44  |
| 府コーディネーター会議 | 0 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 2 | 1 | 2 | 2 | 0  | 1  | 13  |
| 医療機関との会議等 | 2 | 2 | 1 | 4 | 3 | 5 | 3 | 1 | 0 | 2 | 3  | 1  | 27  |
| 事業所との会議等 | 6 | 4 | 3 | 1 | 4 | 2 | 6 | 2 | 4 | 3 | 2  | 3  | 40  |
| その他 | 1 | 3 | 1 | 3 | 1 | 1 | 3 | 4 | 2 | 3 | 3  | 1  | 26  |
| 合計 | 11 | 11 | 8 | 9 | 12 | 14 | 20 | 12 | 14 | 14 | 15  | 10  | 150  |

（３）　目標設定

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 指標 | 目標 | 結果 |
| 自立訓練事業延べ利用回数（稼働率） | 6,600回（91％） | 6,213回(85.2%) |
| 自立訓練事業利用者満足度（退所者） | 85％以上 | 88.9% |
| 高次脳機能障害者等への相談支援延件数 | 2,400件 | 1,544件 |
| 研修会・勉強会の参加者数 | 400人 | 488人 |

（４）総括

①自立訓練事業

機能訓練では、新規利用者16名を含む31名に対して延1,912回の訓練を提供した。訓練内容は理学療法、作業療法、言語療法を個別のリハビリテーション計画を作成し、個別・集団訓練で提供を行った。また中途脳損傷者のうち身体障害だけでなく高次脳機能障害を合併する利用者には認知リハビリテーションプログラムの提供を併せて行った。

生活訓練では、新規利用者25名を含む78名に対して4,301回の訓練を提供した。特に新規利用者25名のうち17名が医療機関退院後の利用となっており、退院後からきれめの無い高次脳機能障害に対するリハビリテーションサービスを提供することが出来た。高次脳機能障害のある利用者に対して、就労や余暇活動等それぞれの目的に応じたプログラムを認知機能や目的別にグループ分けを行い適切なプログラム提供を行った。また、身体障害を有する利用者には理学療法や作業療法の機能訓練プログラムの提供を行い、その後身体障害者手帳取得後に速やかに機能訓練利用へとサービス種別変更を行った。

退所者は機能訓練12名、生活訓練32名の合計44名で、そのうちサービス種別変更が3名（機能訓練1名、生活訓練2名）で実退所者数は41名であった。その内訳は、他の障害福祉サービス利用となった「他の事業所利用」が9名、復職や新規就労など一般就労と復学の合計である「就職（復職）/就学」が15名、「入院」、「入所」が各1名、特にサービスなどを利用しない「在宅」が15名であった。特に「在宅」となった方々については、家事全般を行う方や定年退職後の自立した地域生活を送られる方もいるものの、福祉サービス利用や就職活動などをしないままに在宅生活を送られている方も存在している。特に病識の乏しさや意欲低下がある方々への支援について多くの課題があると認識している。

その他には、訓練を提供する当事者だけでなく家族支援として、毎月家族懇談会を開催し、家族ならではの悩みや不安を共有することで家族の孤立防止への取り組みを行った。今年度は11回開催しのべ43名の参加を頂いた。また、退所者と利用者の当事者・家族との交流機会を設けることで、退所者の定着支援と利用者の訓練目標設定や意欲向上を目的とした学習懇談会を6月、11月、1月、3月の4回実施し延93名の参加を頂いた。

②高次脳機能障害支援普及事業

相談支援においては新規相談実人数144人、継続実人数275人の合計実相談人数419人に対して、延相談件数1,544件であった。28年度は、新規相談実人数159人、継続実人数410人の合計実相談人数569人に対して延相談件数2,303件と実人数、延相談件数ともに前年度を下回った。これは、前年度に退職した支援コーディネーターの手当てが速やかに行えず上半期の延相談件数の大幅な減少に繋がったと思われる。

また、支援普及研修会においては、関係団体、支援機関向け研修会を5月、8月、1月の計3回、当事者・ご家族・市民向け研修を11月に開催し、延236人の参加を頂いた。さらに、高次脳機能障害に対する啓発活動としては、28年度に引き続き出張型勉強会の案内を行い8事業所延12回の開催要請を受け延252人の参加を頂いた。支援普及研修会及び出張勉強会の延参加者数は488人となった。

さらに、市内の高次脳機能障害支援体制の強化を目的の一つとした生活リハビリテーションセンター運営委員会を2回開催し、29年度の取組み項目や市内関係機関の連携強化についての議論を頂いた。

③目標設定と事業結果

利用回数は、機能訓練1,912回、生活訓練4,301回の合計6,213回で年度目標の6,600回を達成することが出来なかった。また開所日数243日からの稼働率も85.2%と目標達成出来なかった。

利用者満足度については、聴取時期を均質化するために利用終了時にアンケート調査を行うこととした。その結果、アンケート回答者27名中24名から「サービス利用に満足している」という設問に対して「よくあてはまる（21）」、「あてはまる（3）」の回答があり、その合計は88.9%ととなり満足目標の85%以上の利用満足度を得ることが出来た。但し、今年度利用終了者は機能訓練12名、生活訓練32名でその内サービス種別変更が3名で実質退所者は41名となり、アンケート回収率は65.9%と全ての退所者からの調査とはなっていない。利用途中で施設入所や入院、さらに通所意欲の減退などでサービス利用開始当初の目標を果たせず利用終了した利用者への満足度調査が出来ていない点は課題と思われる。

高次脳機能障害者等への相談支援延件数は、1,544件で目標の2,400件を大幅に下回る結果となった。これは、前述の支援コーディネーター配置遅れによる情報発信と各相談に対するきめ細やかな対応が十分でなかった可能性がある。

研修会・勉強会の参加者数は、支援普及研修会4回延参加者数236人、出張勉強会12回延参加者数252人合わせて488人の参加者があり目標の400人を上回ることが出来た。

第2期指定管理期間の初年度において、センターのフロント業務を担う支援コーディネーター配置の遅れが生じたことで、相談支援においては細やかな対応が出来ず市民へのご迷惑をかけた点について反省すべき結果となった。